

教育目標・指導の重点

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

- 1 生徒一人一人の基本的な人権を尊重し、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長に努め、健康の増進を図るとともに、思いやりと規範意識を持った社会性豊かな人間を育成する。
- 2 基礎的・基本的な学習を通じて、社会に役立つ知識・技術を習得させ、地域社会の一員として、産業の発展や文化の向上など社会に貢献する人間を育成する。
- 3 すぐれた伝統を継承するとともに、自ら主体的に思考・判断する態度を育て、個性と創造力豊かな人間を育成する。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 1 **学校行事**の充実や部活動及び生徒会活動を奨励し、集団活動や体験活動を進めることで、互いに理解し合い、学校への定着を図るとともに、**他者**に対する思いやりの心や社会におけるマナーを身に付けさせる。
- 2 警察・**関係機関**等と連携し、交通安全指導や禁煙、薬物乱用防止等の指導を充実させ、規範意識を養うとともに自ら身の安全を守れる態度を育成する。生徒による授業評価及び学校運営連絡協議会の学校評価アンケートなどの外部評価を取り入れ、授業の改善を図るとともに、教育活動全般の改善を行う。
- 3 1年次から系統的に学習させるとともに生徒一人一人の学習到達度に即した指導を充実させ、基礎学力の定着を図る。また、商業高校として、社会に通用する資格取得を奨励し、様々な検定に挑戦させ、自ら進んで学習に取り組む意欲や志を育成する。
- 4 選択科目とガイダンス機能の充実を図り、自らの進路や個性に応じた科目選択を行い、自己実現が図れる生徒を育てる。

2 指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

- ① 言語活動の充実及び読書活動の推進を柱とする各教科の年間指導計画を生徒・保護者に周知する。また、関係機関と連携し生徒の社会的能力を育成するために主権者教育や消費者教育を推進する。
- ② 体力向上の取組として全校生徒による体力テストを実施し、定点観測により生徒の体力向上を図る。
- ★③ 商業科目や国語・数学・英語等普通科選択において、少人数指導・習熟度別指導、及びティームティーチングを行い、学力を向上させる。
- ④ 「人間と社会」の学習をとおして、地域の関係機関と連携し地域と交流することで、自他を尊重する精神を育成し、主体的に活動する資質を身に付けさせる。

(2) 特別活動の指導

- ① 修学旅行や学年を超えた遠足及び様々な生徒会行事などの学校行事の工夫を図り、三商に学ぶ生徒として学校への一層の定着を図るとともに、環境保全や自然災害に関する意識の育成に努める。
- ② 体育的行事や文化的行事、体験的行事、進路行事等の意義や目的と成果を評価・検討し、より効果的な行事へと改善を図り、行事の生徒参加率を80%以上とする。
- ③ オリンピック・パラリンピック教育を推進し、**東京2020大会**のレガシーとして、日本の伝統文化及び規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じて日本人としての誇りを身に付けさせていく。

(3) 生活指導

- ① 面接週間を設ける他、生徒一人一人と向き合った指導を行うことで、生徒の学校生活における生活指導や、いじめ防止の取組の徹底を図るとともに家庭との連携を深める。また、自殺対策に資する教育を徹底し、生徒一人一人の個性を伸ばし、生徒の自己肯定感を育成する。
- ★② 道徳教育の充実を図り、心の教育や時間を守るなど社会性や規範意識を養うとともに、防犯や安全に対する正しい知識や対応を身に付けるために、警察や関連機関及び地域と連携し、セーフティ教室や薬物乱用防止教室等を実施する。
- ③ 防災訓練、避難訓練を年4回実施するとともに、防災機関と連携した防災教育の充実を図っていく。

(4) 進路指導

- ★①4年間を見通した組織的・計画的なキャリア教育を推進し、生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育て、自己の個性を理解させ、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。
- ②ハローワークと連携し、進路ガイダンスや進路講話を**計画的に実施し**、在り方・生き方教育としての進路指導の充実を図る。

(5) 総合的な探究の時間・総合的な学習の時間

- ①4年次に行う商業科目「課題研究」3単位で代替する。「簿記」(1講座)、「情報」(1講座)を開講し、主に資格取得を目標とし、探究活動を行い、自己の興味・関心や適性・能力、進路希望等に応じて選択させる。
- ②探求する態度を育てるために、商業に関する学習や資格取得の意義を考えさせ、各自設定した課題解決向け、調査研究活動や報告・発表を通して、生きる力を育ませる。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動等

(1) 教育目標達成のための特色ある教育活動

- ①商業科目の習熟度別指導や、少人数指導・チームティーチング指導を通じ基礎学力の定着を図る。さらに、商業選択や総合選択科目を通して、生徒の進路希望や興味・関心に応じた指導内容・方法について工夫して指導を行う。
- ②本校教育活動を広く理解していただくために、学期に1回の授業公開週間や体験入学を年間1回実施する。

(2) 学校週5日制への対応

- ①期末考査終了後の特別時間割や学校行事の見直し等により、授業時数を確保する。
- ②土日に開催される地域の行事や区民祭等にボランティアとしての参加を呼びかけ、地域の人々と交流を図る。